

「信仰の父から学ぶ」

ヘブル人への手紙11章8～19節

1

信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、それに従い、どこに行くのかわからずに出て行きました。信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をともに受け継ぐイサクやヤコブと天幕生活をしました。堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都の設計者、また建設者は神です。アブラハムは、すでにその年を過ぎた身であり、サラ自身も不妊の女であったのに、信仰によって、子をもうける力を得ました。彼が、約束してくださった方を真実な方と考えたからです。こういうわけで、一人の、しかも死んでも同然の人から、天の星のように、また海辺の数えきれない砂のように数多くの子孫が生まれたのです。ヘブル11:8-12

2



3

アブラハムはみことばに従った

- 【主】はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」創世記12:1-3

4

アブラハムはみことばに従った

- 「アブラムは、主が告げられた通りに出て行った。」創世記12:4
- 「どこに行くのかわからないで出て行った。」ヘブル11:8
- 「(アブラハム)が、約束してくださった方を真実な方と考えたからです。」ヘブル11:11

5

神に従うことに伴う困難

- アブラハムは故郷を出て寄留者(外国人)として、テント生活を強いられた
- 「デビがいるところが故郷！」(S.キャロル)
- 「神によって導かれるところが故郷」
- 「私たちの国籍は天にあります。」ピリピ3:20
- 「彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光として、地上のことだけを考える者たちです。」ピリピ3:19

6

アブラハムの失敗(不信仰)

- エジプトでは妻のサライを利用して自分を守ろうとした。パロをだまそうとしたが、発覚して追放された。創世12章
- 神のあわれみによって救われた。(命拾い)
- 自分の知恵や力ではなく、神により頼むことを学んだ。

7

アブラハムの失敗(不信仰)

- 同じことをゲラルの王アビメレクに対してやった！
- アビメレクはアブラハムを呼び寄せて言った。「あなたは何ということを私たちにしたのか。私がいたい、罪となるとんなことをあなたにしたというのか。あなたが、私と私の王国に大きな罪をもたらそうとするとは。あなたは、してはならないことを私にしたのだ。」創世記20:9
- 聖書は正直な書物。「信仰の父」の弱いところ、醜いところを示す。本当の「信仰の父」は神。

8

アブラハムから学ぶこと

- 聖書の信仰は、信頼できる方を信頼するという信仰。信頼できる言葉を信頼し、従う。
- 「鰯(いわし)の頭も信心から」ではない。
- 人間の信頼(信仰)がすごいのではなく、神の信頼性(真実)がすごい！神は弱い(死んでも同然の)人間を用いて神のご計画を全うされる
- 人類の歴史を導くことのできる方は、私たちの人生をも導くことができる方。

9

信仰によって、アブラハムは試みを受けたときにイサクを献げました。約束を受けていた彼が、自分のただひとりの子を献げようとしたのです。神はアブラハムに「イサクにあって、あなたの子孫が起こされる」と言われましたが、彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることもできると考えました。それで彼は、比喩的に言えば、イサクを死者の中から取り戻したのです。
ヘブル11:17-19

10

アブラハムの試練(テスト)

- 神は仰せられた。「あなたの子、あなたが愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そして、わたしがあなたに告げる一つの山の上で、彼を全焼のささげ物として献げなさい。」創22:2
- 御使いは言われた。「その子に手を下してはならない。その子に何もしてはならない。今わたしは、あなたが神を恐れていることがよく分かった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しむことがなかった。」創22:12

11

レンブラント、「イサクの犠牲」



12

アブラハムは従い通した

- 「復活によって」イサクを取り戻した
- 信仰によって、アブラハムは試みを受けたときにイサクを献げました。約束を受けていた彼が、自分のただひとりの子を献げようとしたのです。神はアブラハムに「イサクにあって、あなたの子孫が起こされる」と言われましたが、彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることもできると考えました。それで彼は、比喩的に言えば、イサクを死者の中から取り戻したのです。

ヘブル11:17-19

13

アブラハムから学ぶ

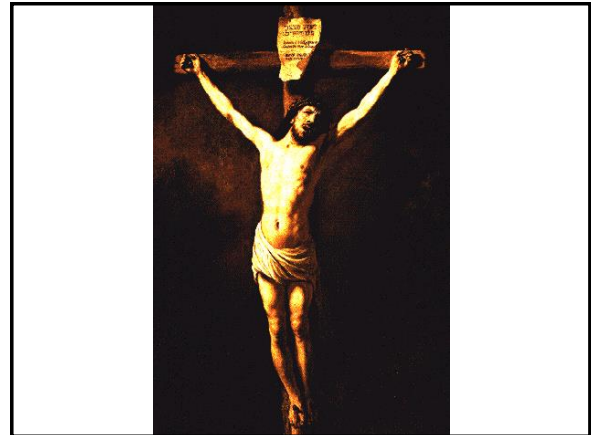
- 私たちにも自分を捧げることが求められている。
- ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。 ロマ12:1
- 自分の十字架を負ってわたしに従って来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。自分のいのちを得る者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを得るのです。 マタイ10:38-39
- まことに、まことに、あなたがたに言います。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。 ヨハネ12:24

14

アブラハムから学ぶ

- 神は、アブラハムには、手を下させなかったが、ご自分は、ひとり子をおささげになった(十字架)。神は私たちのためには、何も惜しまない神。
- 私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。 ロマ8:32

15



16

「信仰の父」から学ぶ

- 私たちの信頼(信仰)よりも神の信頼性。
- 私たちのFaith(信仰)よりも神のFaithfulness(真実)。
- 聖書は私たちの信仰(faith)の証しというよりも神の真実(faithfulness)の証し。
- 聖書が教える信仰は、信頼できる神を信頼し確かな神のことばに従って生きること。

17